

Ni基超合金Alloy718の疲労強度とせん断型疲労き裂進展下限界値に及ぼすき裂面干渉の効果の定量評価に関する研究

田中, 佑弥

<https://hdl.handle.net/2324/4475130>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	田中 佑弥
論文名	Ni 基超合金 Alloy 718 の疲労限度とせん断型疲労き裂進展下限界値に及ぼすき裂面干渉の効果の定量評価に関する研究
論文調査委員	主査 九州大学 教授 松永 久生 副査 " 准教授 濱田 繁 " 福岡大学 教授 柳瀬 圭児

論文審査の結果の要旨

本研究は、Ni 基超合金 Alloy 718 におけるせん断型疲労き裂の発生・進展・停留メカニズム、き裂進展下限界値に及ぼす析出強化およびき裂開閉口応力の影響を明らかにすることにより、破壊力学にもとづく疲労設計法の確立に向けた重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。